

Day 35：あなたの弱さの中に働く神の力

「わたしの恵みはあなたに十分に注がれている。というのは、わたしの力は弱さの中で完全に働くからである」(第二コリント 12:9a、NIV)

私たちが、肉体的、精神的、知的、経済的、霊的弱さを覚えるとき、どのように対処しているでしょうか？自己弁護したり、言い訳をしたり、隠そうとしたり、憤ることがしばしばです。しかし、今日知っていただきたいのは、「神様は好んで弱い人々をお用いになる」というグッド・ニュースです。「強い人々を辱めるために、この世の弱い人々を・・・意図的に選ばれた」神様は、あなたの弱さを通して働かれようとされているのです。神様は、自分の弱さを知り、その弱さを認める人と親しくされ、祝福されます。弱さというのは、罪でも悪でもなく、また食べすぎや短気のように自分で変えることのできる欠点とも異なります。それは、あなたが遺伝的に受け継いでしまったものや、自分の力では変えることのできないものを指します。生まれつきの虚弱体質や、肉体的ハンディキャップであるかもしれませんし、精神的外傷、痛ましい記憶、変わった習性、あるいは遺伝的性癖などの情緒的制約、あるいは、才能や知能における制約であるかもしれません。しかし、神様はあなたの限界によって制限される方ではありません。もし、神が完全な人しかお用いにならないのであれば、神の働きは全く前進しないのです。私たちは「土の器」にしかすぎませんが、この中に神様の偉大な力という「宝物」をいれているのです。あなたが壊れやすい自分を差し出すとき、神様は喜んで用いてくださいます。

弱さを認める：私たちができる2つの重要な告白を聖書は教えています。一つ目は、主イエスキリストに対する信仰の告白です。二つ目は、自分は単なる人間にすぎないという真理の告白です。自分の限界を認め、不完全さと正直に向き合しましょう。

弱さを受け入れる：弱さを認めるだけでなく、パウロは「私は自分の弱さを喜んで誇ります。それは、キリストの力が私を通して現されるためです。」といました。なぜ自分の弱さを受け入れ、満足するのでしょうか？それは、弱さのゆえに神様により頼むようになるからです。弱さはまた、私達を謙遜にさせ、先走って神のみこころから逸れていくことがないようにさせます。また、弱さがあることで、信者同士の交わりが深まり、そして何よりも、人に対する思いやりが深まり、ミニストリーの能力を高めます。本当のところ、人生最大のメッセージや最も効果的なミニストリーは、あなたの最も深い傷から生まれてきます。あなたには最も恥ずかしく思っていること、人に分かち合うことができないことはありますか？期待してください！神様はそれらをほかの人を癒すために用いられるのですから。「地上で最も謙遜な人」と呼ばれたのは、短気で、殺人を犯したモーセでした。「愛の使徒」とよばれたヨハネは、かつて傲慢な「雷の子」とよばれていたのです。このように、神様は、弱さを強さに変える特技を持っておられ、あなたの最も弱い部分をも造り変えたいと願っておられるのです。

弱さを正直に分かち合う：神様は、「謙遜な者に恵みを施される」方だと聞いたことがあるかもしれません。この謙遜とは、正直に自分の弱さを認めるということです。あなたが自己防衛をやめ、仮面を脱ぎ捨て、自分の葛藤を人に分かち合うようになるにつれ、神はあなたに恵みを与えてくださるのです。無防備な人ほど皆に慕われるものです。弱さにも拘わらず、あなたが神に用いられているのを見れば、人々は励まされて「神様は私のような者でも用いてくださるかもしれない」と考えるようになるのです。あなたの人生のゴールは、人々に良い印象を与えることでしょうか？それとも人々に良い影響を与えることでしょうか？人の信頼を勝ち得るための最も大切な資質は、完全であることではなく、真実であることなのです。

Daily Devotionals

第4の目的：あなたは神に仕えるために造られた

悪魔があなたの弱さを指摘したときには、それを否定し対抗しようとするのではなく、謙虚にそのことを認め、私達のあらゆる弱さを「理解しておられる」イエス様と、「私たちが弱いときに助けてくださる」聖霊に対して心からの賛美をささげましょう。それを通して働かれる主に期待し、豊かに用いていただきましょう。

今日のポイント：私が自分の弱さを認めるとき、神は最もよく働いてくださいます。

考えてみましょう：私に働かれる神の力を制限しないよう、正直に弱さを認める必要のあることは何でしょう？